

# こどもを守る情報モラル向上支援事業

(令和4年度福島県・県教育委員会・県警察3機関連携事業)

## 1 背景

GIGAスクール構想により小学1年生から一人1台端末の教育環境が整う一方で、こどもたちのインターネット利用の長時間化、低年齢化も進んでいる。さらに、違法・有害情報や虚偽情報の拡散、SNSに起因する犯罪被害、ネット上の誹謗中傷やいじめ等、インターネット利用による弊害も深刻になっている。

## 2 目的

福島の未来を担うこどもたちが情報社会で適正な活動を行うための基礎となる考え方と態度を身に付け、ICTを活用して問題解決できる能力を伸ばし、世界や日本、地域社会で活躍できるように支援する。

## 3 概要

家庭や学校でこども（小中高生）のインターネット利用に関する基礎知識の習得度合いと利用状況を把握する支援システム「(仮)ふくしま情報モラル診断」を開発、運用する。

- 児童生徒と保護者を対象にCBT（※）で診断問題とアンケートを実施
- 診断問題で知識の習得度合いを把握、学校はグラフ等により児童生徒の実態を把握し情報モラルに関する指導に活用
- アンケートでスマホ所持率、ネット利用状況、フィルタリング率等を把握

(※CBT～Computer Based Testingの略でコンピュータを使った試験方式のこと。)

### 〈診断問題イメージ〉

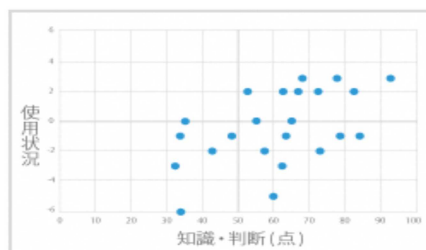
あなたが撮った写真をSNSやネットにアップするとき、**やってはいけないことをすべて選んでください。**



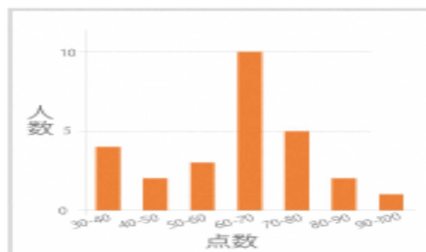
- |          |                                       |
|----------|---------------------------------------|
| <b>A</b> | 友だちの寝顔の写真を許可なくSNSにアップする               |
| <b>B</b> | 仲の良い友だちと一緒に撮った写真を本人の許可なくSNSにアップする     |
| <b>C</b> | 外出先で撮影した写真に知らない人が写っていたが、そのままSNSにアップする |

出典：Yモバイル全国統一スマホデビュー検定

### 〈診断結果イメージ〉



診断結果分布図



得点分布図

出典：ネット利用診断サービス  
(静岡大学×カスペルスキー)

## 4 スケジュール（予定）

令和4年4月～9月	システム開発
令和4年10月～	先行運用
令和5年4月～	本格運用